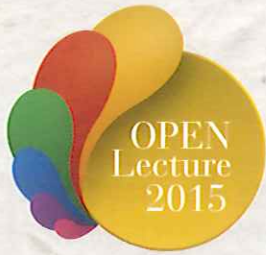




京都ノートルダム女子大学
Kyoto Notre Dame University

公開講座2015



Ogata Kôrin
and Kosode Fashion



鳥居本 幸代

TORIIMOTO Yukiyo

生活福祉文化学部生活福祉文化学科教授

尾形光琳と
小袖ファッション

琳派400年を
記念して

2015年10月18日(日)

13:00~14:30 (12:30開場)

ユージニア館3階

NDホール (予約不要・入場無料)

主催/京都ノートルダム女子大学

京都ノートルダム女子大学 生活福祉文化学部・大学院人間文化研究科 生活福祉文化専攻

後援/京都新聞、琳派400年記念祭委員会

<http://www.notredame.ac.jp/>

桃山時代後期、本阿弥光悦と俵屋宗達によって築かれた造形芸術は、尾形光琳・乾山兄弟によって大成されました。琳派を発展させた尾形光琳(1658～1716)は、後水尾天皇中宮・徳川和子の小袖御用を一手に引き受ける京都の富裕な呉服商「雁金屋」の次男として誕生しました。絵画はいうにおよばず、弟で陶芸家の乾山の作品の絵付け、漆芸にも優れた作品を残しています。

彼の小袖作品は、江戸における庇護者であった深川の材木商の妻に贈った「白綾地秋草模様描絵小袖」(俗称「冬木小袖」重要文化財)一点しか確認されていません。白綾地袷仕立の小袖には、桔梗・菊・薄・萩などの秋草模様が墨・藍・代赭などの色で写実的に描いたものです。

さて、1666年、史上初の小袖デザインブックといえる小袖雛形本が刊行され、18世紀に入ると、尾形光琳の名を冠した光琳梅・光琳菊・光琳杜若・光琳桔梗・光琳水などの「光琳模様」が小袖雛形本を彩り、爆発的に流行しました。それらは、「白綾地秋草模様描絵小袖」のような写実的なものではなく、デフォルメされた模様の展開で、今日なお、キモノをはじめ工芸品などに伝承され、愛好されています。

琳派400年を迎えた今年、小袖ファッションにおける尾形光琳の影響について、絵画・工芸、さらには小袖雛形本を通して再認識します。

鳥居本 幸代

TORIIMOTO Yukiyo

生活福祉文化学部
生活福祉文化学科教授



略歴●京都生まれ。京都女子大学大学院終了。家政学修士。専門分野 平安朝を中心として、広く衣食住に関わる生活文化を研究。小倉百人一首殿堂・時雨殿 2014年秋の企画展「おじゃる丸と学ぶ！王朝びとのくらし大発見」監修など。

主な研究業績●『平安朝のファッション文化』『精進料理と日本人』『雅楽—時空を超えた遙かな調べ—』『千年の古都・平安京のくらし』(いずれも単著、春秋社発行)

生活福祉文化学部

質の高い暮らしを提案できる
スペシャリストを育成。

子どもから高齢者まですべての人々がゆたかに暮らせるように、「生活」「福祉」「保育」の領域から、「生活の質的向上」を探究します。興味や目標に応じてオリジナルの学びが作れる「フィールド・ユニット」が特徴で、領域を超えた多彩かつ専門的な学びで、将来のイメージが広がります。即戦力を養う実習授業や、取得できる免許・資格も豊富で、社会に直結する学びが広がっています。

【ライフデザイン領域】

「衣」「食」「住」を総合的に学び、生活文化の視点から現代生活の課題やあり方を考えます。生活に関わる幅広い見識と、課題を解決できる知識、技術を習得した「生活のスペシャリスト」を育成します。

【ソーシャルワーク領域】

社会福祉の理念や制度を理解し、生活の質的向上(QOL)に向け、人間に対する深い理解と、対人援助理論と技術をもった福祉専門職を養成します。ソーシャルワーカーの国家資格である社会福祉士と精神保健福祉士の受験資格が同時に取得できます。

【保育士養成課程】

社会福祉の理念と生活支援の知識を身につけ、保護者を含めた子育て支援ができる高い専門性を備えた保育士を養成します。本課程の在籍者は、併修などにより、幼稚園教諭免許の同時取得も可能です。一生懸命学びたいあなたを応援！

●2015年度より資格特待生制度と修学支援制度が新たにスタート！

→詳しくはホームページ(入試情報)で

